「鞠智城大好き国営化を願う」

6月22日、私たちは種から心を込めて育てた花を、鞠智城（山鹿市・菊池市）に贈呈しました。

鞠智城は、7世紀の白村江の戦いで大敗した大和政権が、西日本の守りを固めるために築いた山城の一つで、九州を統治した太宰府や、それを守るための城に、武器や食糧を送る基地だったと考えられているそうです。

鞠智城がある山鹿市菊鹿町に住む私は、スタンプラリーや遠足で、小さい時から何度か訪れたことがありました。だから、教科書で高床の倉庫を見て、鞠智城の米倉に似ているなど思いました。鞠智城の大きな原っぱで、八角形鼓楼をバックに鬼ごっこをしたりと、今思うと、とてもぜいたくなことだったと思います。

そんな鞠智城が国営公園を目指していることを知ったのは中学1年生の時です。そして、3年生になり、菊鹿中の生徒会の一人として、鞠智城を訪れた人に花の苗を配ることになりました。地域の人はもちろん、他県から訪れた人にも配ることができて、一緒に鞠智城の国営化を願うことができました。

大好きな鞠智城をたくさんの人に知ってもらえるように、国営化されることを願っています。